



大洲小学校 6年

三好 ひまり さん

☆第41回全国小学生陸上競技交流大会(女子100m走) ☆第38回愛媛県小学校陸上運動記録会(女子60m走)出場

小学5年生から陸上クラブに所属し、週1回1時間30分の練習に励んでいる三好さん。サッカーチームにも所属し、週3回の練習をこなすなど、体を動かすことが日常の一部となっています。

11月2日に開催された全国大会では、「特に緊張しなかった」と振り返る一方、自分よりはるかに速い選手の存在に驚かされたそうです。続く11日の愛媛県記録会では、コーチから「試合前には、必要な栄養素を一度に取れるミートソースパスタがいいよ」とアドバイスを受け、前日はお母さんの手作りパスタを食べて本番に臨みました。新記録への周囲からの期待に強いプレッシャーを感じていましたが、気持ちを切り替え、いつも通りの走りを披露。見事に自己ベストを更新し、5年ぶりとなる記録会新記録を打ち立て、愛媛県1位に輝きました。

昔から足が速いことで、周囲の期待に押しつぶされそうになつたこともありましたが、陸上をやめたいと思ったことは一度もないといいます。走ることは何よりも好きで、タイムが伸びたときの喜びが次への頑張りにつながっています。来年は中学生になりますが、これからも陸上を続け、全国大会出場を目標に走り続けます。「自分を信じてくれる人のために走りたい」と話す三好さんの、今後の成長と活躍が楽しみです。

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.107 長浜高等学校

長浜高校美術部の桑原臣人です。みなさん、大洲市の公式キャラクター「うつつじ」をご存じですか？うつつじは、大洲市の合併20周年を記念して行われたキャラクター募集で、最優秀賞を受賞した僕の作品を市がデザイン化したキャラクターです。鶴をモチーフにしていて、頭の上には大洲市の花である満開のつつじをあしらいました。そして今回、長浜高校の恒例行事である「長高フェスティバル」が開催されるにあたり、美術部ではうつつじの立体化を実現することになりました。うつつじを制作する中で、苦労した点がたくさんあります。その中でも、鶴の衣装の制作についてお話しさせていただきます。実際の鶴では、藁で作られた腰みのを身に着けます。この藁の質感を再現するために試行錯誤を繰り返し、完成品では本物の藁を使用しました。このように段ボールのような一般的な材料だけではなく、植物や布などを使うことでアリティを追求しました。

これから、立体化したうつつじをお披露目する機会があるかもしれません。うつつじが、みなさんを笑顔にしてくれることを願っています。



一次回は帝京第五高等学校からです――